

## 「火災発生危険性等を踏まえた防火対象物の用途のあり方について の検討会」の発足

近年、防火対象物の有効利用の観点等から、防火対象物又はその一部を一時的に従来の用途と異なる目的（店舗や展示場などへの一時的な変更）で使用する形態（以下「一時使用」という。）が増えていることから、当該使用形態に係る実態を把握し、一時使用における火災発生危険性を踏まえた防火安全対策を講ずるための方策について検討を行います。

### 1 検討課題

- (1) 一時使用についての実態把握
- (2) 一時使用における火災発生危険性の抽出
- (3) 一時使用における防火管理体制のあり方について
- (4) 一時使用における消防用設備等の設置及び維持のあり方について

### 2 構成員

（五十音順・敬称略）

委員：飯塚正則	千葉市消防局 予防部参事兼予防課長
石井義昭	東京消防庁 参事兼予防課長
今井常弘	大阪市消防局 予防課長
今泉晋	(社)建築・設備維持保全推進協会 専務理事
碓氷辰男	(社)日本ビルディング協会連合会
梅原直	総務省消防庁 予防課長
大河内美保	主婦連合会 副会長
小嶋潤一郎	名古屋市消防局 予防部指導課長
佐野友紀	早稲田大学人間科学学術院 助教授
椎野靖啓	全国展示場連絡協議会
志田弘二	名古屋市立大学芸術工学研究科 教授
中村文雄	日本展示会協会 展示場・施設委員会委員長

### 3 スケジュール

平成18年11月22日（水）に第1回を開催し、年度内に3回程度開催し報告書を取りまとめる予定です。

（事務連絡先）

総務省消防庁予防課 伊藤、奥

TEL 03-5253-7523

FAX 03-5253-7533

# 火災発生危険性等を踏まえた防火対象物の用途のあり方 についての検討概要

(一時使用の例)



## 火災発生危険性が増大

### 主な検討の内容

1 一時使用についての実態把握

2 火災発生危険性の抽出

3 防火管理体制のあり方

4 消防用設備等の設置・維持

○一時使用における期間・用途・規模・利用者数や商品等の可燃物量等についての実態調査

○簡易な間仕切壁の設置・内装材の状況による出火・延焼拡大などの課題の有無について実態調査

○防火管理者の選任・消防計画の作成・消防訓練の実施及び防災物品の使用

○二方向避難の確保・通路幅員・避難施設の位置等の維持管理

○出火源となる火気の使用及び取扱いの適切な管理

○消防用設備等の設置及び維持についての安全対策